

クイズ50人に聞きました

Sheila Baumgardner

Beaverton High School
Oregon, U.S.A.



学習者年齢： 14～18才
日本語レベル： 初級～中級
文化面の目的： 日本の高校生を考えや夢などを知る
アメリカの高校生と比較する
学習する日本語： アンケートで使う語彙

学習目標

米国の高校生と、在米日本人大学生に対するアンケート調査の結果を基に、日米の学生の意識や考え方を比較する。例えば学校、家族、レジャー、将来の夢などについて、日米の学生がどのような考えを持っているのかを学習する。

授業の進め方

<用意する物>

- ・米国の高校生と在米日本人大学生それぞれ50人に対して行ったアンケートの調査結果を書いたもの
- ・正解者に渡す賞品

<進行方法>

1. 上記アンケート結果を使ってfamily feud (日本の「クイズ100人に聞きました」)をまねて「クイズ50人に聞きました」というゲームを行う。
2. クラスを4チームに分け、それぞれに日本語のチーム名をつける。2チームを教室の前方に呼び、じゃんけんで勝ったチームから順に、アンケート回答の上位4項目を当てていく。そのチームが2度間違えたら、解答権は相手チームに移る。未回答の項目を1つ当てると、相手チームがそれまでに獲得した点数をすべて獲得することができる。
3. 上記2チームがゲーム中、ほかの生徒は質問や答えをメモに取る。両

チームとも答えられなかった場合には、ほかの生徒が答え、正解であれば賞品をもらう。

4. 日本人学生のアンケート回答について、生徒全員でディスカッションを行う。
5. ゲームで最も高得点をあげたチームに賞品を渡す。
6. 最後に、何を学んだのかを話し合い、日本文化に関する項目をリストアップする。
7. 日本の学校に関するビデオを見て、日本文化についてさらにディスカッションする。

<アンケートの質問と回答例>

・宝くじが当たったら、何を買いますか。

日本の学生: 世界旅行、家、服、貯金
米国の高校生: 車、家、教育、服
・休日は何をして過ごしたいですか。
日本の学生: 外出、買い物、スポーツ、映画
米国の高校生: スポーツ、寝る、外出、食事
(ほかの項目は、英文参照)

生徒の意見・反応

(「」内は生徒の言葉)

- ・「自分の考えていることと似ているが、米国の学生のほうが不満が多いのには驚いた」
- ・「文化が違ってても基本的には同じだということがわかった」

- ・「日本の学校のほうが(規則が)厳しい」
- ・「日本人はかっこいい食べ物を食べている」
- ・「日本の学生は米国の学生より学校が好きようだ」
- ・アメリカの生徒は、講義だけではどんなに面白いトピックを扱っても眠ってしまう。ゲーム形式であれば、積極的に参加してくる。

外国語学習と文化理解

アメリカのみならず世界中で、若者は自分の身の回りのことで頭がいっぱいで、異文化に関して限られた知識しか持っていないことが多い。生徒たちは、世界中の人々が、自分たちと全く同じように考え行動することもあれば、そうではないこともあり得るということを学ぶ必要がある。

言葉はいつもそれを話す人々の文化を反映している。例えば日本語には常体と敬体がある。日本では、上下関係とそれに応じたコミュニケーションの必要から敬語が使われているが、これは、生徒にとって非常に新鮮なことである。実際のコミュニケーションでは、発せられた言葉以上にたくさんの内容が伝えられる。日本語教師は、文化と言語の双方を理解させるために、言葉の背景にある文化的要素を伝えていかなければならない。